



多摩市立瓜生小学校

瓜生小だより

学ぶ喜びのある学校



令和7年度5月号
令和7年5月1日

『地域と共にある学校づくり』

校長 池田 泰章

新年度がスタートして1ヶ月が経とうとしています。入学式、前期始業式の頃は、校庭の花々が嬉しそうに咲き誇っていました。そうした快い季節の中で、快いスタートが切れたことを本当に嬉しく思います。最上級生の6年生は、すっかり6年生らしくなっています。入学式の翌日には、1年生の教室で1年生を迎え、優しく丁寧に接していました。1年生は、学校生活にも慣れてきて、日に日にしっかりしてきています。新しい環境で少し疲れが見えてきた1年生もいますが、ゴールデンウィークでゆっくりリフレッシュできたらと思います。

さて、全国の学校ではいじめをなくすための様々な取組がなされています。いじめをいち早く見付け、いじめで苦しんでいる子供たちを救う手だても講じられています。そして、何よりも大切なのは、いじめを生まない風土づくり、学校づくりです。そのためには、クラスの中、学校の中で子供たち一人一人の良さを大切に、認める学級づくり、人間関係づくりが大切です。いじめのない学校、一人一人が大切にされる学校、みんなが安心して豊かに生活できる学校づくりに、これからも、全教職員で力を合わせて取り組んでまいります。



瓜生小学校は、令和3年度よりコミュニティスクールとなり、「学校運営協議会」を設置し、委員会を5回行っております。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第47条）」に基づき、「学校運営協議会」では、学校運営の基本方針の承認（必須）、学校運営に関する意見（必須）、教職員の任用に関する意見（任意）について、協議を行っています。コミュニティスクールは、「学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え『地域とともにある学校づくり』を進める法律に基づいた仕組みです。（文科省HPより）」と規定されています。つまり、「瓜生小の子供たちの豊かな学びを支えるために、学校・家庭・地域の三者が連携して取り組みましょう。」ということです。子供たちの学びを支えるためには学校だけではなく、家庭及び地域との関わりや協力が必要です。協働を進めていくためには、学校の敷居を低くするだけではなく、保護者や地域の皆様のご意見を学校運営に反映させてまいります。子供たちの豊かな学びや健やかな成長のために、ぜひお力をお貸しいただきたいと思いますと考えております。

今後も、瓜生小の学校教育活動へのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。